

# 大学評価学会 第17回全国大会 「大学人像」の再構築

学問の自由が市民の権利となる一方、学長の選考に大学人が加われない大学が増えている。教職員や学生が大学の過去や未来について語る機会はほとんどない。そのなかで、「グランドデザイン」や「ガバナンス」は大学人に関してどのような方向性＝「大学人像」を示しているであろうか。課題は二つある。一つは、大学自治を基盤とする教員と職員の職業専門性をどう捉えなおすか、もう一つは、自治の担い手としての学生を大学のなかにどう位置づけるかである。

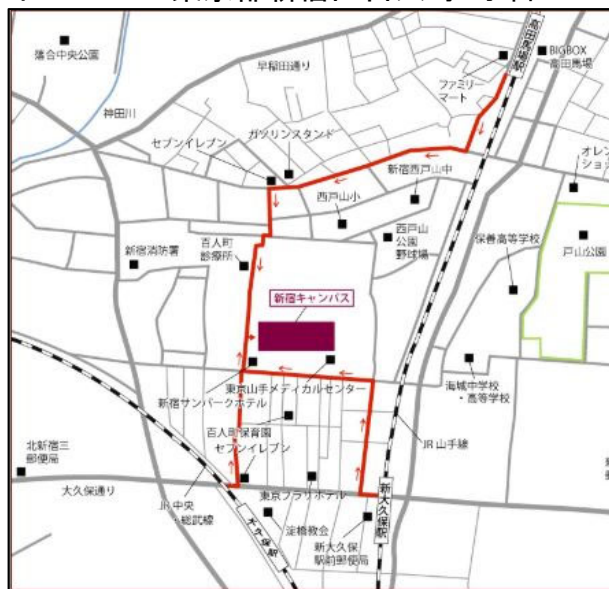
グローバル化のもと、高等教育へのさまざまな政策が諸外国のあり方を部分的に模倣するような仕方で行われ、それに大学評価（認証評価、法人評価、競争的資金配分の際の評価）が連動している。大学人はそのなかで、学問の自由と自律をいかに担うかを問われている。2019年度大会においては、この20年余りの政府主導の大学改革のもとでの「大学人像」の変容と、その再構築について考えたい。

日時

3月7日(土)  
～8日(日)

会場：桜美林大学 新宿キャンパス

〒169-0073 東京都新宿区百人町3丁目23-1



留意事項

会場(教室)内での食事はできません。  
昼食等の食事は、本館1Fラウンジをお使いください。  
施設内には食堂・売店ははありません。

参加費等

【参加費】会員：1,500円 非会員：3,000円 ※現地払い  
院生・学生等(会員・非会員問わない)1,000円  
【情報交換会費】一律5,000円(但し院生・学生2,000円)  
※本学会ウェブサイトから事前参加申し込みをお願いします

3月7日(土) 9:30受付開始

10:00～12:00 自由研究

A会場(J201教室)

テーマ：大学評価

B会場(J202教室)

テーマ：教育・研究と大学

13:30～14:15 会員総会 (3F ホール)

14:30～17:30 基調講演 (3F ホール)

「大学改革」のやめ方

お花畑的ユートピア幻想を超えて

佐藤 郁哉氏(同志社大学 教授)

17:45～ 情報交換会 (カフェテリア)

3月8日(日) 9:00受付開始

9:30～11:30 課題研究Ⅰ (J302教室)

大学職員の内発性に基づく役割モデルの再構築に向けた日・韓・台比較研究<2>

座長：深野政之(大阪府立大学)

13:00～13:45 ポスターセッション

(J302会場)

13:45～16:15 課題研究Ⅱ (J302教室)

高大接続「改革」教育的課題と青年期の発達の在り方を問う

座長：小池由美子(上田女子短期大学)

16:20～17:00 総括討論 (J302教室)

大学評価学会

<http://www.unive.jp/>

全国大会問い合わせ先  
入会等の問い合わせ先

大学評価学会第17回全国大会実行委員会 [ae17@obirin.ac.jp](mailto:ae17@obirin.ac.jp)  
大学評価学会事務局 [hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp](mailto:hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp)

3月7日(土) 9:30受付開始大会受付(午前2階J201 / J202教室前,午後3階 センテナリオホール前)

10:00 ~ 12:00 自由研究セッション(口頭発表 発表20分・質疑応答10分)

A会場(2階 J201教室) テーマ:大学評価 司会 米津直希(稚内北星学園大学)

- 1) フランスにおけるGNU(全国大学評議会)の役割と機能について:岡山 茂(早稲田大学)
- 2) 新たな認証評価機関の設立とその評価:中田 晃(放送大学大学院)
- 3) 大学評価と大学設置基準:光本 滋(北海道大学)
- 4) 大学ガバナンスの現状とその評価の方法 —大学運営の合理性・民主性をどのように確保するか—:重本 直利(大学オブズマン)

B会場(2階 J202教室) テーマ:教育・研究と大学 司会 細川 孝(龍谷大学)

- 1) 食品開発を例とした文理融合実践型教育の取り組み:○ 山田 千佳人(新潟薬科大学応用生命科学部),外山 歩実・鶴巻 沙記・中嶋 沙也花・伊藤 徹至・酒井 友里奈・大越 将・浅間 裕貴(新潟薬科大学応用生命科学部),櫻井 涼佑・石井 司(新潟薬科大学薬学部),村瀬 博昭(奈良県立大学),坂爪 裕介(株式会社坂電工業),重松 亨・浅田 真一・中道 眞(新潟薬科大学)
- 2) ジェンダー視点からの震災研究と大学の役割:朴木 佳緒留(京都教育大学)
- 3) 戦後改革期における大学教員養成に関する研究—新制大学院構想に着目して—:吉田 翔太郎(山梨大学・東京大学大学院)
- 4) 戦後改革期における新制高等学校の職業教育改革構想:日永 龍彦(山梨大学)

13:30 ~ 14:15 会員総会(3階 センテナリオホール) 受付13:00開始

14:30 ~ 17:30 基調講演(3階 センテナリオホール)

「大学改革」のやめ方:お花畑的なユートピア幻想を越えて 佐藤 郁哉氏(同志社大学教授)

司会:水谷 勇(神戸学院大学)

指定討論者:岡山 茂(早稲田大学)、西垣 順子(大阪市立大学)

17:45 ~ 20:00 情報交換会(1階 カフェテリア)

3月8日(日) 9:00受付開始 大会受付(3階 J302教室前)

9:30 ~ 11:30 課題研究 I (3階 J302教室) 座長 深野 政之(大阪府立大学)

大学職員の内発性に基づく役割モデルの再構築に向けた日・韓・台比較研究<2>

<趣旨> 2018年度に採択された科研費研究計画では、本学会が創立以来継続してきた教職協働研究の蓄積を基盤として、韓国・台湾との国際共同研究により日本、韓国、台湾での実践の中から形成されてきた大学職員の役割モデルについて明らかにすることにより、日本の大学職員に対する新たな役割モデルを提示することを目的としている。今年度は8月に大学行政管理学会関東地区研究会との共同企画による韓国大学訪問調査・国際研究集会、12月には科研メンバーのみによる台湾再訪問調査によって、現地教職員へのインタビューと意見交換を行った。本分科会では、韓国・台湾での大学訪問調査報告と、日本の大学職員論の特徴を検証することを通じて、最終年度に向けて大学職員の新たな役割モデルを提示するための枠組みを議論したい。

- 1) 村上孝弘(龍谷大学)「韓国の大学訪問調査報告(1)」
- 2) 安東正玄(立命館大学)・飯野勝則(佛教大学)「台湾の大学訪問調査報告(3)」
- 3) 菊池芳明(横浜市立大学)「大学職員論の再構成に向けて—基本的視座—」

<指定討論者> 光本 滋(北海道大学)

13:00 ~ 13:40 ポスターセッション(コアタイム) (3階 J302教室)

- 1) 学習指導要領学園大学と「心のバリアフリー」政策にみる「交流及び共同学習」の特徴: 議事録分析を踏まえて  
金丸 彰寿(神戸松蔭女子学院大学)
- 2) 公正(equity)な大学運営のための評価論形成の試み(1)—gender equity と大学評価—  
西垣順子(大阪市立大学)
- 3) 大学職員の内発性に基づく役割モデルの再構築 <2>  
深野 政之(大阪府立大学)
- 4) 哲学カフェ・カンボジアの活動: 哲学プラクティスを「現地化」する  
望月 太郎(大阪大学)
- 5) 市民による「大学評価」—「地域の大学に関するアンケート」の結果から—  
米津 直希(稚内学園大学)

13:45 ~ 16:15 課題研究 II (3階 J302教室) 座長 小池由美子(上田女子短期大学)

青年期の発達保障: 高大接続「改革」の教育的課題と青年期の発達の在り方を問う

<趣旨> 2014年12月に、中教審が「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体改革について(答申)」を出した。いわゆる三位一体改革である。この後大学「改革」には益々拍車がかかる、センター試験を廃止し新たな大学入学共通テストが導入されることが決まった。これは、大学入試に国家が介入し、大学教育、高等学校教育を変質させるものである。本来の高大接続は、教育的な課題として青年期の発達保障の視座から捉える必要がある。この課題研究では、当事者として高校から大学院に至るまで自分の成長をどのようにとらえているか、院生の報告を受ける。高校教諭からは生徒の成長の捉え方や大学教育への期待を提起し、参加者で課題を深める。

- 1) 林 卓杜(筑波大学大学院修士課程2年生)
- 2) 櫻村 祐志(学習院大学大学院修士課程1年生)
- 3) 齋藤 貴子(埼玉県立川越総合高校英語科教諭)

<指定討論者> 西垣 順子(大阪市立大学)

16:20 ~ 17:00 総括討論(3階 J302教室)

司会 小山 由美(日本大学)、小池 由美子(上田女子短期大学)